

河野昭三先生 略歴

- 昭和23年2月20日 神奈川県伊勢原市に生まれる
- 昭和41年3月 東京都立立川高等学校卒業
- 昭和44年4月 一橋大学社会学部入学
- 昭和46年4月 一橋大学商学部転部
- 昭和48年3月 同学部卒業
- 昭和48年4月 一橋大学大学院商学研究科経営学及び会計学専攻修士課程入学
- 昭和50年3月 同課程修了（商学修士）
- 昭和50年4月 一橋大学大学院商学研究科経営学及び会計学専攻博士後期課程入学
- 昭和52年3月 同課程中途退学
- 昭和52年4月 山形大学人文学部経済学科講師（「経営学」担当）
- 昭和54年8月 メリーランド大学経済学部フルブライト客員研究員（昭和55年12月まで）
- 昭和56年11月 山形大学人文学部経済学科助教授
- 昭和60年4月 東北大学経済学部経営学科助教授（「経営労務論」及び大学院科目を担当）
- 平成2年1月 東北大学経済学部経営学科教授
- 平成2年4月 仙台地域高齢者雇用開発事業実施協議会会長（平成4年3月まで）
- 平成4年4月 大学入試センター（政経部会）教科専門委員（平成6年3月まで）
- 平成7年9月 日本経営学会理事・東北部会代表（平成13年9月まで）
- 平成10年4月 宮城県職業能力開発審議会委員（平成14年2月まで）
- 平成11年4月 東北大学大学院経済学研究科経営学専攻教授（組織変更による）
- 日本学術振興会特別研究員等審査会専門委員（平成13年3月まで）
- 平成12年4月 東北大学出版会評議員（平成16年3月まで）
- 平成13年4月 大学設置・学校法人審議会大学設置分科会経済学専門委員会委員（平成16年3月まで）

平成14年 6 月	博士（経営学）（東北大学 経（経営）第一号）
平成14年 8 月	大学評価・学位授与機構大学評価委員会経済学系教育評価専門委員（平成16年 7 月まで）
平成16年 3 月	大学評価・学位授与機構高等専門学校機関別認証評価委員会専門委員（平成17年 3 月まで）
平成16年 4 月	文部科学省海外先進教育実践支援プログラム選定委員会委員（平成17年 3 月まで）
平成17年 4 月	東北大学大学院経済学研究科経済経営学専攻教授（組織改組による）
平成18年 3 月	東北大学早期退職
平成18年 4 月	甲南大学経営学部教授（「経営組織論」, 「経営学総論」及び大学院科目を担当） 東北大学名誉教授
平成22年 6 月	木村石油株式会社非常勤社外取締役（平成28年 6 月まで）
平成22年12月	金融庁公認会計士・監査審査会公認会計士試験委員（平成26年11月まで）
平成23年 4 月	京都大学経営管理大学院国内研究員（平成24年 3 月まで）
平成23年 9 月	日本経営学会第85回大会委員長（於 甲南大学）
平成26年 4 月	甲南大学経営学部長（平成27年 3 月まで） 甲南学園理事・評議員（平成27年 3 月まで）
平成27年 4 月	甲南大学大学院社会科学研究科会計専門職専攻教授（平成28年 3 月まで）
平成28年 3 月	甲南大学定年退職
平成28年 4 月	甲南大学名誉教授 立命館大学客員協力（上席）研究員

河野昭三先生 著作目録

I 単著書

1. 『ビジネスの生成：清涼飲料の日本化』 文真堂（平成14年6月）；増補改訂版（平成16年10月）；増補三訂版（平成21年10月）

II 単編著

1. 『ゴーイング・コンサーンの経営学』 税務経理協会（平成8年10月）；序章「ゴーイング・コンサーンの概念と現代的課題」（1～28頁）を執筆。

III 共著書

1. 『雲嶋良雄先生退官記念論文集』（竹内一夫らとの共著）同文館（昭和61年4月）；第5章「現代経営学の座標系に関する覚書」（203～275頁）を執筆。
2. 『情報化への企業戦略：日立の事例研究』（杉本典之らとの共著）同文館（平成2年1月）；第3章「ME化と経営戦略の展開」（63～104頁）を執筆。
3. 『FAからCIMへ：日立の事例研究』（徳永重良・杉本典之編）同文館（平成2年2月）；第3章「家電成熟工場のFAとCIM：栃木工場の事例」（97～152頁）を執筆；第4章「冷蔵庫用圧縮機製造工程のFAと労働」（153～179頁）を富田義典と共同執筆。
4. 『現代企業の経営学』（佐々木弘・小松章編著）八千代出版（平成7年3月）；第5章「経営組織」（93～120頁）を執筆。
5. 『神話のマネジメント：コカ・コーラの経営史』（村山貴俊との共著）まほろば書房（平成9年11月）；第三版（平成12年7月）
6. 『ケースに学ぶ経営学』（東北大学経営学グループ著）有斐閣（平成10年3月）；第2章「私企業の形態：わが国電気通信産業の曙に見る」（32～61頁）；第10章「生産計画と生産現場：総合電機メーカーのエアコン工場」（158～177頁）；第16章「会社は誰のものか：ピケンズ対小糸製作所問題から」（254～269頁）；第17章「ビジネスの倫理性：不正表示牛乳の代償」（270～286頁）を執筆。
7. 『経営学パラダイムの探求：人間協働 この未知なるものへの挑戦：加藤勝康博士喜寿記念論文集』（河野大機・吉原正彦編）文真堂（平成13年5月）；第13章「コロッセアとしてのバーナード理論：W. リチャード・スコットの見解をめぐって」（181～197頁）を執筆。
8. 『経営学の基本視座：河野昭三先生還暦記念論文集』（藤本雅彦編著）まほろ

ば書房（平成20年6月）；序章「経営学の基本視座」（3～18頁）を執筆。

9. 『経営学の伝統と革新』（甲南大学経営学会編）千倉書房（平成22年11月）；第5章「社会・企業（組織）・個人の統合に向けて：マズロー-Z理論の意義」71～85頁を執筆；三島斉紀編著『マズロー理論研究序説：「自己実現」概念とその経営学的意義』まほろば書房（2015年3月）第8章として再録。

IV 単監訳書

1. ジェフリー L. ブラダック著『ハーバードのフランチャイズ組織論』文眞堂（平成18年1月）
2. クリス・アージリス著『組織の罫：人間行動の現実』文眞堂（平成28年3月）

V 共訳書

1. W. リチャード・スコット著『制度と組織』（板橋慶明との共訳）税務経理協会（平成10年6月）
2. トーマス S. ディッキー著『フランチャイジング：米国における発展過程』（小島正稔との共訳）まほろば書房（平成14年6月）

VI 論文

1. 「産業民主主義と労務管理：J. R. コモンズの所論に関する一考察」（単著），日本評論社『月刊労働問題』223号（昭和52年3月），34～44頁。
2. 「企業競争力と工場管理」（単著），東北大学経済学会『研究年報 経済学』第48巻第5号（昭和62年1月），153～170頁。
3. 「組織の制度的分析：P. セルズニックの所論を中心にして」（単著），「山形大学紀要（社会科学）」第8巻第2号（昭和53年2月），177～221頁。
4. 「バーナードの『組織』概念に関する一考察」（単著），一橋大学産業経営研究所『ビジネス・レビュー』第27巻第1号（昭和54年6月），44～48頁。
5. 「K. J. アローの組織論に関する一考察：新制度経済学の組織理論」（単著），『山形大学紀要（社会科学）』第11巻第2号（昭和56年1月），85～109頁。
6. 「J. R. コモンズの『制度』概念について」（単著），『山形大学紀要（社会科学）』第12巻第2号（昭和57年1月），69～91頁。
7. 「組織の論理と労務管理」（単著），『山形大学紀要（社会科学）』第13巻第2号（昭和58年1月），231～258頁。
8. 「経営戦略のダイナミズム：冷蔵庫用ロータリーコンプレッサーに関する事例研究」（単著），一橋大学一橋学会『一橋論叢』第96巻第4号（昭和61年10

- 月), 104~125頁。
9. 「企業競争力と工場管理：一つの事例研究」(単著), 東北大学経済学会『研究年報 経済学』第48巻第5号(昭和62年1月), 153~170頁。
 10. 「バーナードの地位システム論に関する一考察：組織の病理学的アプローチ」(単著), 東北大学経済学会『研究年報 経済学』第48巻第6号(昭和62年3月), 111~122頁。
 11. 「電電公社における民営化の論理」(単著), 電気通信普及財団『研究調査報告書 No.3: 電気通信普及財団昭和61年助成分』(平成元年3月), 188~190頁。
 12. 「ME 技術と経営戦略：日立製作所の事例研究」(単著), 東北大学経済学会『研究年報 経済学』第51巻第1号(平成元年8月), 1~23頁。
 13. 「電電公社の民営化と人事政策の転換：職務分類制度から職能資格制度へ」(単著), 『日本電電公社の民営化に関する実態調査研究』(研究代表者：原澤芳太郎, 1987~89年度科学研究費補助金・総合研究A・研究課題番号62301079, 平成2年3月), 129~180頁。
 14. 「日本電信電話公社における賃金制度の特質と問題点：民営化の内在的意義に関する一考察」(単著), 東北大学経済学会『研究年報 経済学』第53巻第4号(平成4年3月), 147~165頁。
 15. 「Enterprises in Japanese Software Industry: Their Lineage and Growth」(単著) *Proceedings of The First International Federation of Scholarly Associations of Management Conference* (平成4年9月), 62~65頁。
 16. 「競争戦略と経営倫理」(単著), 日本経営学会編『新しい企業・経営像と経営学』千倉書房(平成5年9月), 10~18頁。
 17. 「民営化と組織マインド：NTTは変わったのか?」(単著), 組織学会編『組織科学』白桃書房(平成6年6月), 57~65頁。
 18. 「協働の道徳的側面とリーダーシップの本質：バーナード理論に関する一つの覚書」(単著), 東北大学経済学会『研究年報 経済学』第56巻第4号(平成7年1月), 91~101頁。
 19. 「バーナード理論の体系性に関する一つの覚書」(単著), 東北大学経済学会『研究年報 経済学』第56巻第4号(平成7年3月), 181~191頁。
 20. 「事業性格に関する一考察：わが国明治期のビール事業」(単著), 東北大学経済学会『研究年報・経済学』第61巻第3号(平成11年12月), 27~40頁。
 21. 「米国におけるフランチャイズ展開の一形態：ガソリン小売りとコンビニエンス・ストアの融合」(小嶋正稔との共著), 『フランチャイズ経営の有

効性と問題点に関する研究』(研究代表者：河野昭三，平成11～12年度科学研究費補助金・基盤研究C1・研究課題番号11630117，平成13年3月)，121～143頁。

22. 「わが国清涼飲料ビジネスの生成に関する研究」(単著)，東北大学・博士(経営学)学位請求論文(平成13年12月提出；平成14年6月同学位取得)
23. 「マズロー理論の基本的性格に関する一考察：マレー理論との比較において」(三島斉紀との共著)，東北大学経済学会『研究年報 経済学』第66巻第3号(平成17年2月)，167～179頁；前掲 三島斉紀編著『マズロー理論研究序説』第5章として再録。
24. 「ゴールドシュタインの「自己実現」概念に関する覚書」(三島斉紀との共著)，東北大学経済学会『研究年報 経済学』第67巻第4号(平成18年3月)，147～161頁；前掲 三島斉紀編著『マズロー理論研究序説』第6章として再録。
25. 「コカ・コーラの日本市場参入：ローカリゼーションの事例研究」(村山貴俊との共著)，中山日本研究編纂委員会「中山日本研究」創刊号(平成19年3月)，1～67頁。
26. 「わが国飲料ビジネスの現状と課題」(村山貴俊との共著)，都市問題研究会編『都市問題研究』第59巻第7号(平成19年7月)，3～14頁。
27. 「Coke vs. Pepsi：沖縄1945～72年(その1)」(村山貴俊との共著)，甲南大学経営学会『甲南経営研究』第48巻第1・2号(平成19年11月)，75～102頁。
28. 「Coke vs. Pepsi：沖縄1945～72年(その2)」(村山貴俊との共著)，甲南大学経営学会『甲南経営研究』第49巻第2号(平成20年11月)，1～38頁。
29. 「フランチャイズ制による中小企業の経営革新に関する一考察：小網商店から東京コカ・コーラボトリングへの発展事例」(村山貴俊との共著)，『中小企業の経営革新と創業に関するフランチャイジングの有効性』(研究代表者：小嶋正稔，平成18～20年度科学研究費補助金・基盤研究C・研究課題番号18530301，平成21年3月)，1～48頁。
30. 「社会・企業・個人の三位一体化に関する一考察」(単著)，中華大学人文社会学院『中華日本研究』第1期(平成21年12月)，3～25頁；前掲 三島斉紀編著『マズロー理論研究序説』第9章として再録。
31. 「A.H. マズローによる「自己実現」概念の探求プロセス：GHB ノートと1950年論文を中心に」(三島斉紀との共著)，神奈川大学貿易研究所『経済貿易研究』第35号(平成21年3月)，47～66頁；前掲 三島斉紀編著『マズロー理論研究序説』第7章として再録。
32. 「パーソナリティ研究におけるマズローの基本視座」(三島斉紀との共著)，

- 神奈川大学経済学会『商経論集』第45巻第2・3号（平成22年1月），33～48頁；前掲 三島斉紀編著『マズロー理論研究序説』第1章として再録。
33. 「Maslow 動機理論の基礎的視点に関する一考察」（三島斉紀との共著），甲南大学経営学会『甲南経営研究』第52巻第1号（平成23年7月），145～167頁；前掲 三島斉紀編著『マズロー理論研究序説』第4章として再録。
 34. 「現代経営学とヴェーバー予想」（単著），甲南大学経営学会『甲南経営研究』第54巻第1号（平成25年7月），143～116頁。
 35. 「経営学は‘無用’か？：その存在意義を考える」（単著），日本経営学会編『経営学の学問性を問う（経営学論集第84集）』千倉書房（平成26年9月），81～90頁。

VII 学会発表（主なもの）

1. 「組織の制度的分析：セルズニック理論の意義と限界」（単），組織学会研究発表大会（於 東北大学）昭和53年6月。
2. 「競争戦略と経営倫理」（単），日本経営学会全国大会統一論題（於 明治大学）平成4年9月。
3. 「Enterprises in Japanese Software Industry: Their Lineage and Growth」（単），IFSAM 第1回大会（於 京王プラザホテル）平成4年9月。
4. 「NTT 人事制度の変革プロセス」（単），組織学会年次大会統一論題（於 名古屋大学）平成5年10月。
5. 「経営学は‘無用’か？：その存在意義を考える」（単），日本経営学会全国大会統一論題（於 関西学院大学）平成25年9月。

VIII 辞典

1. 金森久雄・荒憲治郎・森口親司編『有斐閣 経済辞典（第3版）』有斐閣（平成10年1月）；「企業の社会的責任」，「経営戦略」，「経営多角化」，「経営方針」，「経営目的」，「経営目標」，「経営理念」，「経営公開」，「業務提携」，「コーポレート・イメージ」，および「コミュニティ・リレーションズ」を担当。
2. 金森久雄・荒憲治郎・森口親司編『有斐閣 経済辞典（第4版）』有斐閣（平成14年5月）；同上項目を担当。
3. 経営学史学会編『経営学史事典（第2版）』文真堂（平成24年5月）；「ゴーイング・コンサーン」を担当。
4. 金森久雄・荒憲治郎・森口親司編『有斐閣 経済辞典（第5版）』有斐閣

(平成25年12月)；「アメーバ経営」, 「イノベータのジレンマ」, 「KAITEKI」, 「価値連鎖」, 「管理責任」, 「企業の社会的責任」, 「共通価値の創造」, 「三方よし」, 「選択と集中」, 「組織の重さ」, 「組織の限界」, 「組織の制度化」, 「組織の暴走」, 「ソーシャル・ビジネス」, 「BOP ビジネス」, 「ファイブ・フォース」, 「ファブレス」, 「ブルーオーシャン戦略」, 「ポイズン・ビル」, 「リソース・ベスト・ビュー」, および「ロハス」を担当。

5. 阿部猛ほか編『郷土史大系 (IV巻：鉱山業・製造業・商業・金融)』朝倉書店 (近刊)；「清涼飲料水」を担当。

IX その他

1. 「工場管理とME化：日立製作所栃木工場における事例研究」(単著), *Discussion Paper No. 14, Tohoku Management & Accounting Group* (平成元年4月), 本文1~40頁+図表1~18頁。
2. 「バブル経済から大恐慌へ：転換期のリーダーシップ」(単著), 『アメリカ：その時間と空間』東北大学教育学部附属大学教育開放センター (平成5年9月), 51~59頁。
3. 「ペプシコーラ社のフランチャイジング契約書」(単訳), 『フランチャイズ経営の有効性と問題点に関する研究』(研究代表者：河野昭三, 平成11~12年度科学研究費補助金・基盤研究C1・研究課題番号11630117, 平成13年3月), 227~233頁。
4. 「経営組織論」(単著), 『経営学研究のしおり (増補11版)』甲南大学経営学会 (平成18年5月), 91~105頁。
5. 「経営学総論」(単著), 『経営学研究のしおり (増補12版)』甲南大学経営学会 (平成23年3月), 3~24頁。
6. 「日本における清涼飲料ビジネスの展開」(単著), 『vesta (食文化誌ヴェスタ)』(味の素食の文化センター) 第99号 (平成27年8月), 40~45頁。

〈参考〉

1. 「都会の浜茄子」(単著), 一橋大学前期部教務委員会編『一橋』第11号 (昭和46年3月), 17~35頁。
2. 「MYSELF (1948~1985)」(単著), 藤本雅彦編著『経営学の基本視座：河野昭三先生還暦記念論文集』まほろば書房 (平成20年6月), 461~483頁。
3. 「馬渡尚憲先生のご逝去に想う」(単著), 馬渡尚憲先生追悼文集刊行会編『馬渡尚憲追悼集：「尚学」の心』(2015年12月), 82~89頁。